

U.S. Indicators

発表日:2023年9月4日(月)

米国製造業の調整幅の縮小継続(8月ISM製造業指数)

～米製造業部門は悪化に歯止めも調整長期化～

第一生命経済研究所 経済調査部

主任エコノミスト 桂畑 誠治(Tel:050-5474-7493)

23年8月のISM製造業景気指数(季節調整値)は、47.6(前月46.4)と1.2%上昇し、市場予想中央値47.0(筆者予想48.6)を上回った。ヘッドラインの数字が2ヵ月連続で上昇し、製造業部門の調整幅の縮小が示された。また、8月は製造業国内総生産の62%の縮小と7月の92%の縮小から大幅に減少したほか、縮小した業種が18業種中13業種(前月16業種)に減少するなど、製造業の悪化に歯止めがかっている。

世界経済の鈍化や先行き不安を背景に、拡大縮小の分岐点である50を10ヵ月連続で下回っており、製造業の調整期間は金融危機が起きた08年9月から09年7月の11ヵ月を上回って長期化する可能性が高い。しかし、調整幅は当時よりも小さいものにとどまっておき、製造業は深刻な調整を回避している。新規受注、入荷遅延が供給制約の改善や需要の鈍化によって50を下回っているが、在庫調整の進展などを受け持ち直しの動きがみられ、生産が50を回復したほか、人手不足などで雇用削減が限定的なものにとどまっている。

8月の構成項目別の変化では、在庫新規、受注が低下した一方、雇用、入荷遅延、生産が上昇した。構成項目別の総合指数への寄与度をみると、在庫が前月比▲0.42%pt、新規受注が前月比▲0.10%ptの押し下げ寄与となった一方、雇用が前月比+0.82%pt、入荷遅延が前月比+0.50%pt、生産が前月比+0.34%ptの押し上げ寄与となった。

サブ項目では、輸出受注DIが46.5(前月46.2)と上昇し、輸出の減少幅縮小を示した一方、輸入DIが48.0(前月49.6)と低下し、輸入の減少ペースの加速を示唆した。

インフレの動向を示す仕入価格指数は、48.4(前月42.6)と依然として50を下回っているが、前月から大幅に上昇しており、財価格の押し下げが弱まりつつあることを示した。商品別では、プラスチック樹脂、ポリプロピレン、アルミニウム、紙等が下落した一方、電気部品の上昇が続くなか、原油、ディーゼル燃料等が上昇した。また、供給不足品では、引き続き電気部品、電子部品、半導体などが挙げられた。

ISM製造業景気指数

	総合									
	新規受注	生産	雇用	在庫	入荷遅延	受注残	仕入価格	輸出受注	輸入	
22/08	52.9	50.4	51.1	54.2	53.8	55.1	53.0	52.5	49.4	52.5
22/09	51.0	47.3	51.0	49.3	55.1	52.4	50.9	51.7	47.8	52.6
22/10	50.0	48.2	51.9	49.9	53.0	46.8	45.3	46.6	46.5	50.8
22/11	49.0	46.8	50.9	48.9	51.1	47.2	40.0	43.0	48.4	46.6
22/12	48.4	45.1	48.6	50.8	52.3	45.1	41.4	39.4	46.2	45.1
23/01	47.4	42.5	48.0	50.6	50.2	45.6	43.4	44.5	49.4	47.8
23/02	47.7	47.0	47.3	49.1	50.1	45.2	45.1	51.3	49.9	49.9
23/03	46.3	44.3	47.8	46.9	47.5	44.8	43.9	49.2	47.6	47.9
23/04	47.1	45.7	48.9	50.2	46.3	44.6	43.1	53.2	49.8	49.9
23/05	46.9	42.6	51.1	51.4	45.8	43.5	37.5	44.2	50.0	47.3
23/06	46.0	45.6	46.7	48.1	44.0	45.7	38.7	41.8	47.3	49.3
23/07	46.4	47.3	48.3	44.4	46.1	46.1	42.8	42.6	46.2	49.6
23/08	47.6	46.8	50.0	48.5	44.0	48.6	44.1	48.4	46.5	48.0

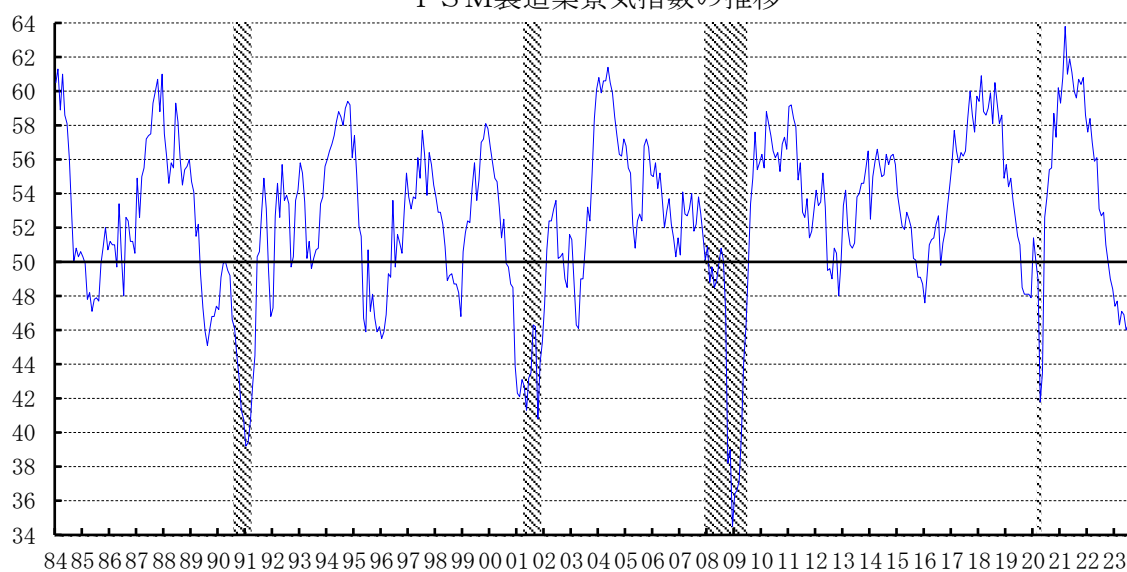
(出所) ISM: the Institute for Supply Management



8月は、全18業種のうち印刷・関連サポート活動、輸送機器、食品・飲料・タバコ、石油・石炭、その他製造業の5種の拡大にとどまったが、7月の2業種から増加した（下線は拡大・縮小が2カ月以上続いたことを示す）。主要6業種では、輸送機器、食品・飲料・タバコ、石油・石炭の3業種が成長した。一方、縮小した業種は、アパレル・皮革製品、家具・同関連、プラスチック・ゴム製品、一次金属、加工金属、繊維、電気設備・部品、化学製品、コンピューター・電子機器、紙製品、木材製品、非鉄、一般機械の13業種と7月の16業種から減少した。

先行きに関して、生産活動に先行する新規受注が46.8（前月47.3）、受注残が44.1（前月42.8）と依然低い水準にとどまっているほか、銀行破綻を受けた信用状況の引き締めによる需要鈍化を背景に、年内、製造業部門の調整が続くものの、在庫調整の進展を背景に製造業景気指数は改善を続けると予想される。

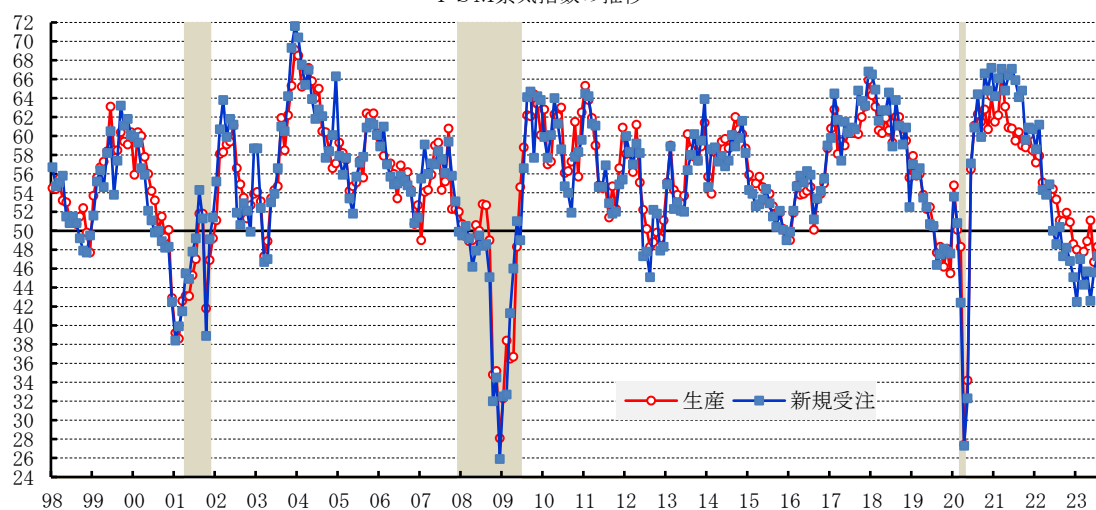
I S M製造業景気指数の推移



(出所) I S M

(注) シャド一部は景気後退期。

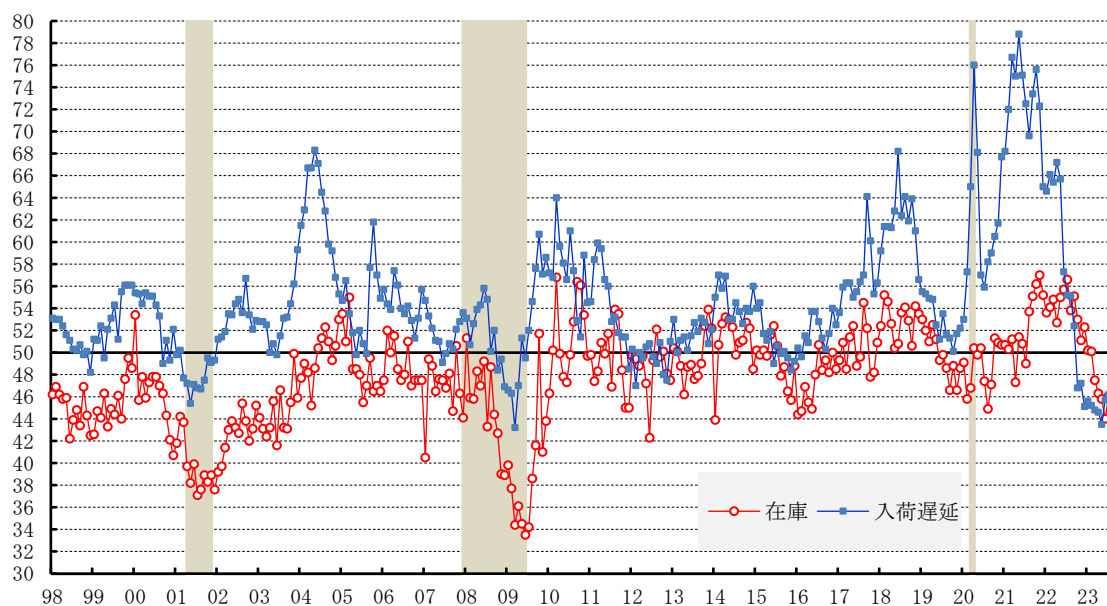
I S M景気指数の推移



(出所) I S M

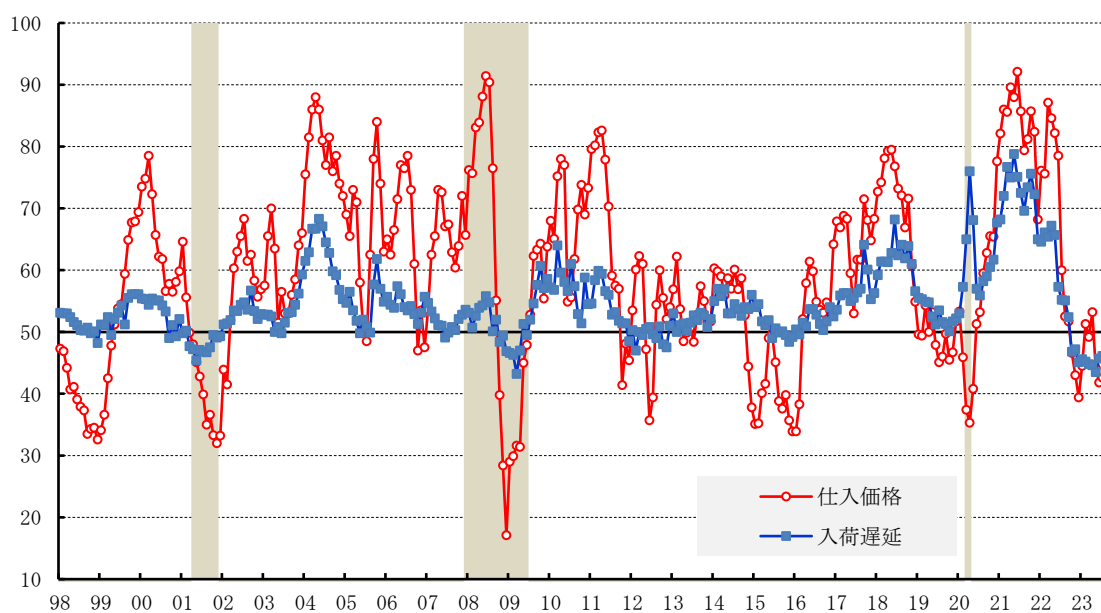
(注) シャド一部は景気後退期

ISM景気指数の推移



(出所) ISM (注) シャドー部は景気後退期

ISM景気指数の推移



(出所) ISM (注) シャドー部は景気後退期

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。